

# QuattroPod Lite

## 高度なWeb設定マニュアル



## 目次

はじめに .....	3
Webブラウザを介してQuattroPodLiteを構成する.....	3
QuattroPod Liteのセットアップ.....	4
QuattroPodLiteに接続.....	6
直接接続 .....	6
ルーター経由で接続.....	7
Web設定のホームページ .....	8
QuattroPodLiteの構成を開始する.....	8
<b>1. ネットワーク管理</b> .....	8
1.1. 5GHzWi-Fiに接続する.....	8
1.2. Wi-Fiの記憶.....	9
<b>2. 端末管理</b> .....	9
2.1. 言語.....	9
2.2. 解像度 .....	9
2.3. 解像度モード .....	10
2.4. ディスプレイモード.....	10
2.5. 再起動タイマー.....	11
2.6. ワンタッチプレイ.....	11
<b>3. 管理者設定</b> .....	12
3.1. Wi-Fiチャンネル.....	12
3.2. SSID.....	13
3.3. パスワード.....	14
3.4. スケッチ .....	14
3.5. 中央管理システム .....	14
3.6. マイスクリーン.....	15
3.7. 動的ホームページ .....	15

3.8.	AirView .....	16
3.9.	管理者のパスワード.....	17
3.10.	スクリーンセーバー.....	17
3.11.	アップグレード.....	17
3.12.	再起動.....	19
3.13.	デフォルトにリセット.....	19
4	デバイスについて<基本情報> .....	20

## はじめに

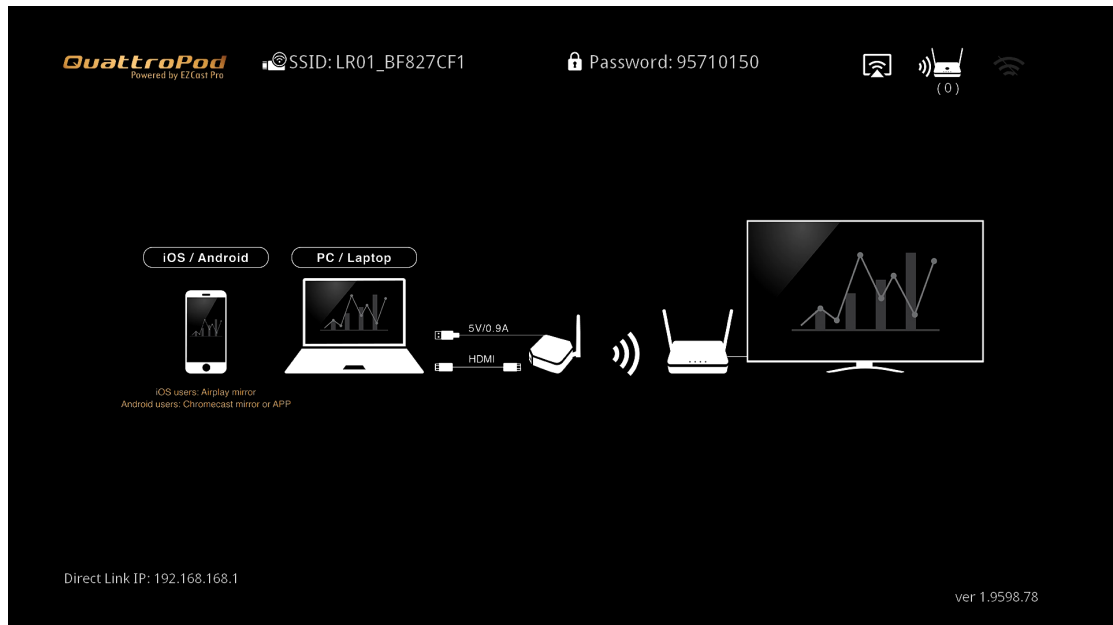
EZCastProを搭載した最も実用的で効果的な投影装置であるQuattroPod Liteをお選びいただきありがとうございます。

QuattroPod Liteは、デバイスのコンテンツを外部画面にキャストできます。また、QuattroPod LiteはWindows、macOS、ChromeOS、Android、iOSをサポートしており、BYODのアイデアを真に実現することができます。

## Webブラウザを介してQuattroPodLiteを構成する

QuattroPodLiteを使用すると、ユーザーはWebブラウザーインターフェイスを介してデバイスを構成でき、ユーザーエクスペリエンスが大幅に向上します。

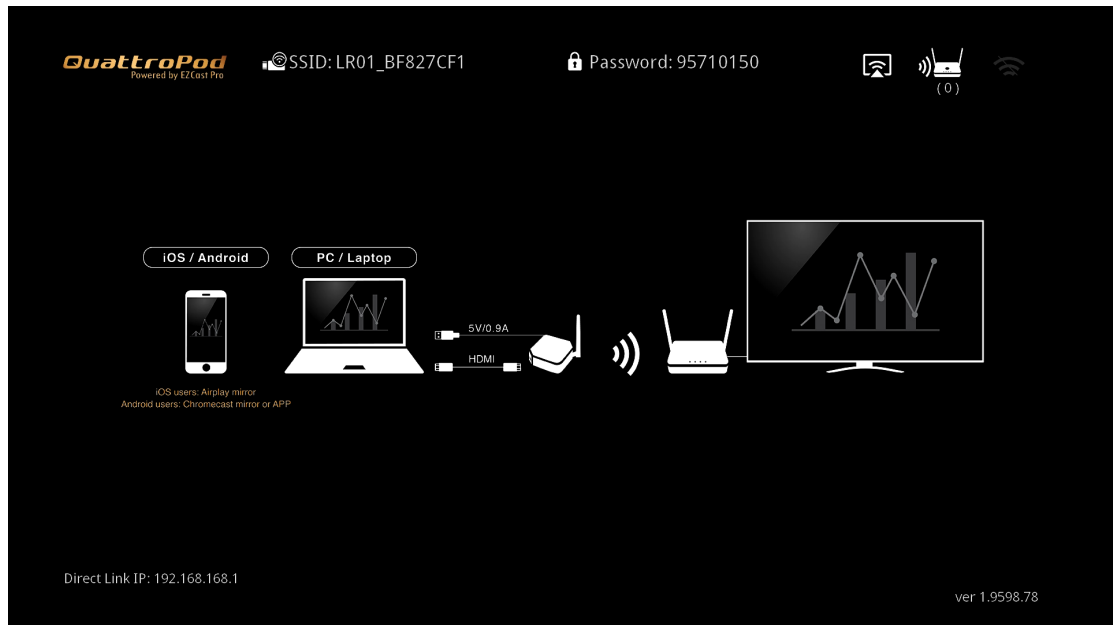
さまざまなニーズと使用シナリオに基づいて、QuattroPodLiteWeb設定セクションで、顧客は出力解像度、優先言語、最大接続数などを含むカスタム設定を行うことができます。



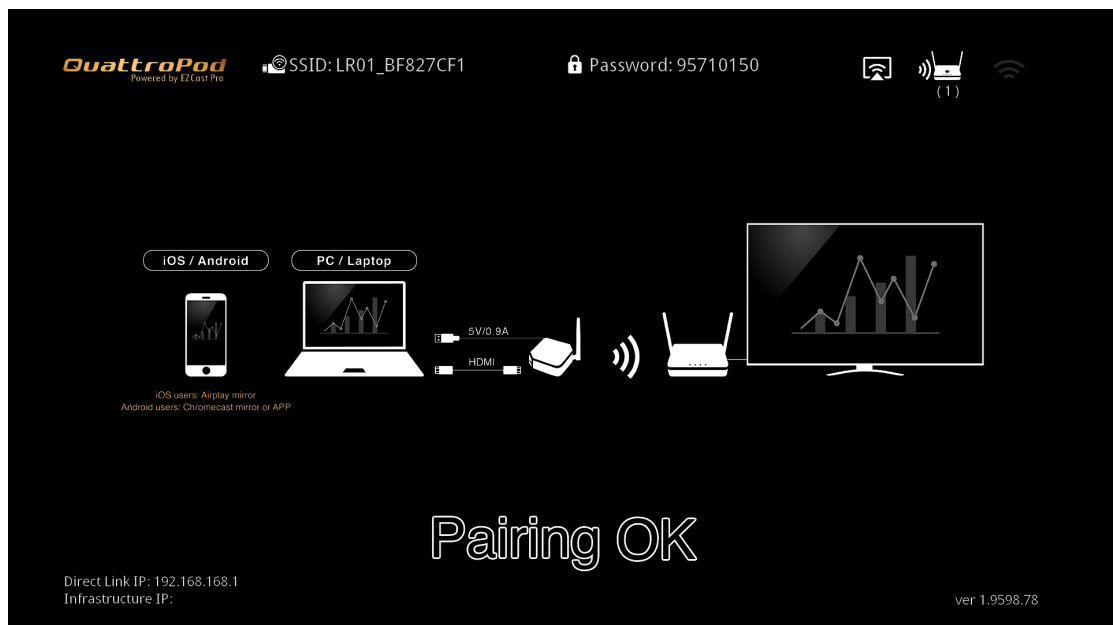
## QuattroPod Liteのセットアップ

以下の手順に従ってQuattroPod Liteをセットアップし、QuattroPod LiteレシーバーとQuattroPod Liteトランスミッターのペアリングプロセスを完了してください。

- i. QuattroPodLiteレシーバーを外部電源に接続します。
- ii. QuattroPodLiteレシーバーをHDMIポート経由で外部ディスプレイに接続します。
- iii. レシーバーが正常に接続されると、外部ディスプレイに以下のランディングページが表示されます。



iv. 送信機を受信機のUSBポートに接続します。送信機と受信機がペアリングされると、ランディングページにペアリングステータスが下の画像のように表示されます。



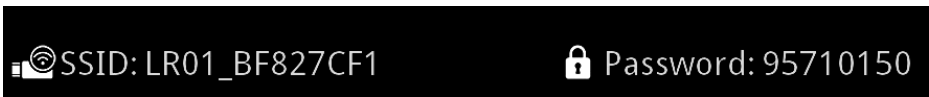
v. ラップトップ（WindowsまたはMacBook）を送信機に接続します。

## QuattroPodLiteに接続

以下の手順に従って、携帯電話、タブレット、またはラップトップをQuattroPodLiteに接続してください。Wi-Fiを介した直接接続の接続方法をユーザーに提供します。

### 直接接続（設定画面への）

- i. SSIDとパスワードについては、ランディングページの上部中央をご覧ください。



- ii. 接続しているデバイスのWi-FiリストでSSIDを見つけます。
- iii. QuattroPodLiteレシーバーに接続するためのパスワードを入力します。
- iv. 直接接続が確立されたら、ランディングページの左下隅にあるIPアドレスをブラウザのURLバーに入力します。QuattroPodLiteレシーバーのデフォルトのIPアドレスは192.168.168.1です。

Direct Link IP: 192.168.168.1

- v. ページが読み込まれると、ブラウザは次のようにWeb設定のホームページに入ります。



## ルーター経由で接続（設定画面への）

i. QuattroPodLiteレシーバーが5GHzWi-Fiルーターに接続されていることを確認してください。詳細については、xxxxx章を参照してください。  
受信機が5GHzルーターに接続されたら、ランディングページの左下隅にあるIPアドレスをブラウザのURLバーに入力します。

ii. ページが読み込まれると、ブラウザは次のようにWeb設定のホームページに入ります。



## Web設定のホームページ

コンプライアンス上の理由により、QuattroPod Liteレシーバーに初めて接続するとき、ユーザーは1.国2.管理者パスワードを構成する必要があります。

QuattroPod Liteは、管理者と非管理者の2つのレベルのアクセスを提供します。より高いレベルのアクセス許可のために管理者としてログインしてください。

## QuattroPodLiteの構成を開始する

### 1. ネットワーク管理

QuattroPodLiteを外部Wi-Fiルーター経由でインターネットに接続します。接続するWi-Fiルーターが5GHzで暗号化されていることを確認してください。

#### 1.1 5GHzWi-Fiに接続する

デバイスがQuattroPod Liteに接続されたら、Wi-Fiパスワードを入力して外部Wi-Fiに接続します。





## 1.2. Wi-Fiの記憶

QuattroPodLiteが以前のWi-Fi設定を記憶できるようにします。

1.2.1 Wi-Fiの記憶を「オン」にする：QuattroPod Liteは、以前のWi-Fi構成を記憶します。

1.2.2 Wi-Fiの記憶を「オフ」にする：QuattroPod Liteは、切断されると以前のWi-Fi構成が消去され記憶されません。

## 2. 端末管理

言語、解像度、最大接続数などを構成するオプションについては、デバイス管理を参照してください。

### 2.1 言語

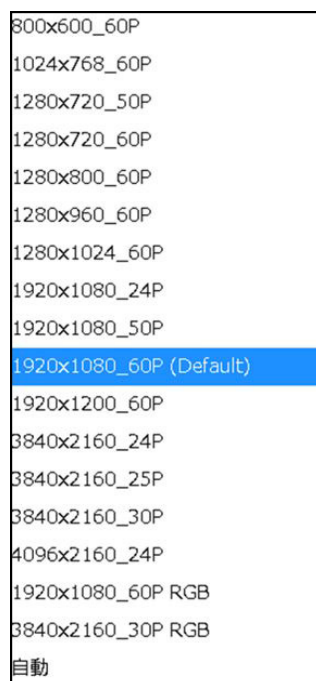
該当する言語を選択してください。



### 2.2 解像度

使用法に適した解像度を選択してください。

QuattroPod Liteは、フレームレート24Pで最大4Kをサポートしますが、デフォルトの出力解像度は1920 x1080\_60Pです。



## 2.3 解像度モード

使用法に適した解像度を以下より選択してください。

- 2.3.1 この接続されたディスプレイのみ : QuattroPod Liteは各モニターの解像度を記憶し、それに応じて各モニターの解像度構成を適用します。
- 2.3.2 接続されているディスプレイ用 : QuattroPod Liteは、すべてのモニターに同じ解像度を適用します。



## 2.4 ディスプレイモード

QuattroPodLiteは以下の表示モードをサポートしています。

- 2.4.1 画面に合わせる : QuattroPodLiteは、ビデオを元のアスペクト比に保ちます。

- 2.4.2 フルスクリーンに拡大：QuattroPodLiteは、ビデオを元のアスペクト比に保ちません。



## 2.5 再起動タイマー

QuattroPod Liteは、次の条件下で2.4.8時間ごとに自動的に再起動します。

- 送信機はいずれも受信機に接続されていません。
- Windows、Android、macOS、iOSを含め、どのデバイスもReceiverに接続されていません。



## 2.6 ワンタッチプレイ

QuattroPodLiteは、スタンバイ状態になってからデバイスが開いているときにモニターをウェイクアップします。



### 3. 管理者設定

管理者設定により、カスタマイズされたQuattroPodLiteのネットワークと機能へのより高いアクセス許可を持つ個人が許可されます。

#### 3.1 Wi-Fiチャンネル

QuattroPodLiteのWi-Fiチャンネルを設定します。

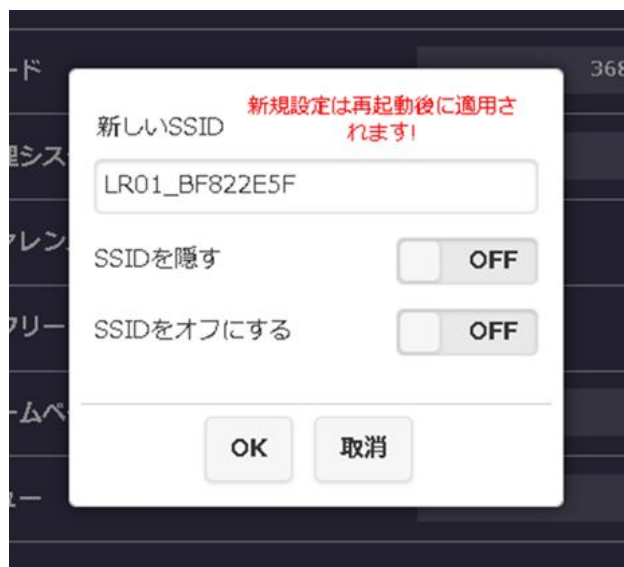


- 3.1.1 国：特定の5Ghzスペクトルポリシーに該当する国/地域を選択してください。
- 3.1.2 チャンネル：Wi-Fiパフォーマンスを向上させるには、利用可能なWi-Fiチャンネルを選択してください。
- 3.1.3 帯域幅：ワイヤレス干渉を回避するために、適切な帯域幅を選択してください。

**QuattroPod Liteが外部インターネットに接続されている間、ユーザーはWi-Fiチャンネルを構成できないことに注意してください。**

### 3.2 SSID

名前の変更、SSIDの非表示、SSIDのオフなど、SSIDをカスタマイズします。新しいSSIDを使用してQuattroPod Liteに再接続し、SSIDに名前を付けた後、受信機と送信機を再ペアリングしてください。



3.2.1 SSIDを非表示：ランディングページからSSIDを非表示にします。QuattroPod Liteを再起動すると、SSIDのランディングページがスターサインになり、不正アクセスが禁止されます。**SSIDを書き留めていることを確認してください。**

3.2.2 SSIDをオフにする：SSID機能を無効にします。SSIDは、ユーザーに直接接続を提供しません。そのため、ラップトップでQuattroPod Lite SSIDを見つけることができません。ターンオフSSIDを選択した場合、QuattroPod Liteを別のルーターに接続する必要があることをユーザーに通知する必要があります。これにより、ユーザーはルーターによってQuattroPod Liteを検出できます。

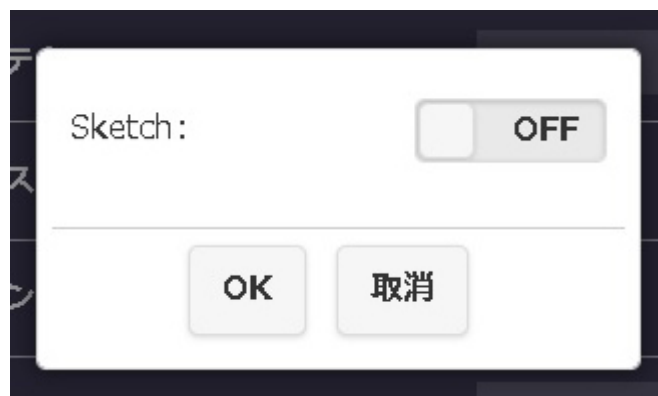
### 3.3 パスワード

ランディングページでWi-Fi接続パスワードを変更または非表示にします。



### 3.4 スケッチ

QuattroPod Liteを使用すると、マウスがQuattroPod Liteレシーバーに接続されているときに、ユーザーはワイヤレスマウスでスケッチできます。



### 3.5 中央管理システム

オンの場合、QuattroPod LiteはCMSツールで検出可能ですが、オフの場合は検出できません。



### 3.6 マイスクリーン

写真 (png) をアップロードして、ランディングページのデフォルト画像を置き換えます。 **画像形式は1920x1080のPNGで2MB未満である必要がありますのでご注意ください。**



### 3.7 動的ホームページ

URLまたはUSBディスクから壁紙を表示する方法を設定します。この機能は、ローカルファイルに保存されているマルチメディアをストリーミングできます。



- 3.7.1 動的壁紙のオン/オフ：動的壁紙のオン/オフを切り替えます。
- 3.7.2 サイレントモードON / OFF：ダイナミック壁紙のサウンドをオン/オフ切り替えます。
- 3.7.3 ソース：URL / USBディスク：ファイルを見つけるURLを指定します。ユーザーは、ファイルをWebサーバーまたはUSBディスクに保存できます。
- 3.7.4 アイドリング後に開始：ダイナミック壁紙をアクティブにする前にアイドル時間を設定します。QuattroPod LiteレシーバーがトランスミッターまたはAirplay / Miracastからストリーミングされていない場合、希望の時間が入力されると再生が開始されます。

### 3.7.5 停止時間：

- 3.7.5.1 送信機が接続されると停止します：受信機が送信機を見つけ、QuattroPod Liteに接続すると、停止します。
- 3.7.5.2 送信機がミラーリングを開始すると停止します。受信機に接続できますが、ミラーリングを開始しない限り、受信機はビデオまたは画像を再生し続けます。

## 3.8 エアービュー

ユーザーは受信機の画面を表示できます。

### 3.8.1 エアービューのオン/オフ：

- 3.8.1.1 オフ：CMSユーザーは発見を許可されていません。  
現在のミラーリングコンテンツ。
- 3.8.1.2 オン：CMSユーザーは、エアービューを使用してスクリーンショットをキャプチャできます。

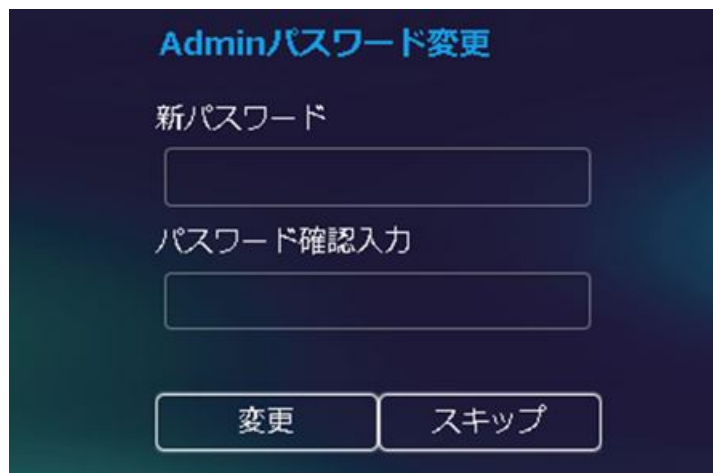
### 3.8.2 リフレッシュレート：一定の時間でリフレッシュします。





### 3.9 管理者パスワード

セキュリティを強化するために管理者パスワードを変更します。



Adminパスワード変更

新パスワード

パスワード確認入力

変更 スキップ

### 3.10 スクリーンセーバー

QuattroPodLiteのアイドル時間を設定します。接続デバイスが使用されると、QuattroPodLiteがアクティブになります。



スクリーンセーバー

OFF

15分

30分

1時間

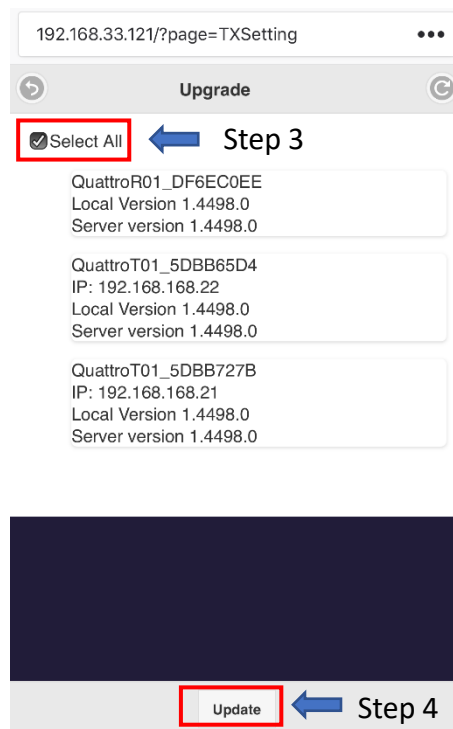
OK 取消

### 3.11 アップグレード

QuattroPodLiteレシーバーおよびトランスミッターのファームウェアを最新バージョンにアップグレードします。**プロセス全体を通して、QuattroPodLiteがインターネットに接続されていることを確認してください。**レシーバーおよびトランスミッターは常に最新のファームウェアを使用することをお勧めします。

アップグレード手順については、以下を参照してください

- QuattroPodLiteレシーバーをインターネットに接続します。
- QuattroPodLiteTransmitterを外部電源に接続します。送信機が受信機とペアリングされていることを確認してください。
- [すべて選択]をクリックして、すべてのQuattroPodLiteデバイスを更新します。
- 「更新」をクリックして、ダウンロードプロセスをアクティブにします。QuattroPod Liteのアップグレード中は、電源を切らないでください。



### 3.12 再起動

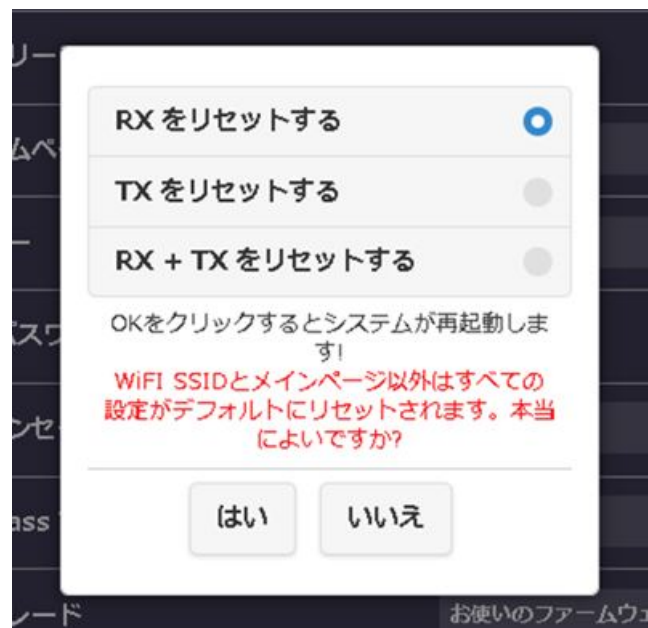
QuattroPodLiteを再起動します。



### 3.13 デフォルトにリセット

QuattroPodLiteを工場出荷時のデフォルトにリセットします。

リセットすると、カスタマイズされたすべての構成がクリアされることに注意してください。



- RXのリセット：QuattroPodLite受信機のみをリセットします。
- TXのリセット：QuattroPodLite送信機のみをリセットします。
- RX+TXのリセット：QuattroPodLite受信機と送信機の両方をリセットします。

#### 4. デバイスについて<基本情報>

SSID、ファームウェアバージョン、Wi-Fiチャンネルなどを含むQuattroPodの詳細情報。

```
SSID : LR01_BF822E5F  
IP : 192.168.168.1  
MAC : D0:C0:BF:82:2E:5F  
解像度 : 1920x1080_60P  
5G WiFiチャンネル  
国 : Japan  
チャンネル : 44  
帯域幅 : 20
```